

2019
平成31年

I 月号
No.1070



広報

ふくやま



特集

枝広市長新春インタビュー

福山藩初代藩主水野勝成の足跡をたどる

今月のイチオシ

ふくやま2018年を振り返る

学校給食週間

パネル展と試食会

「くらしの相談窓口」を市内91カ所に開設

知つてほしい最近の福山

「くらしの相談窓口」を

広がる地域のまちづくり

草戸千軒の魅力を発信

人とつながる手のことば

暮らしの情報

文化施設

催し・講座

募集・お知らせ・人口

健康・医療

相談

福祉

歴史散歩

安国寺阿弥陀如来および
両脇侍立像

いきいきシニア

食育をみんなで実践しよう

ほか P20 P19

ふくやまニュース

福山市総合防災訓練

ほか P22 P21

ねうボラ通信

産前・産後をサポートします

ほか P22 P21

プレゼント付き読者アンケート

つながる備後圏域

福山ブランド

今月号の主な内容

広報「ふくやま」
電子版





2019年に市内各地でイベントを開催

初代藩主水野勝成入封400年イベント

2022年に迎える福山城築城400年に向け、福山藩初代藩主・水野勝成の入封400年という節目の年を記念し、福山城周辺をはじめ、鞆や神辺、新市、沼隈・内海地域でイベントを開催します。

Interview

福山の歴史と伝統芸能を知る機会になれば



2022年の福山城築城400年に向け、福山城ゆかりの史跡を舞台に能の謡曲や舞、さまざまな音楽を披露する「福山名所コンサート」。第4回は水野勝成との関わりも深い吉備津神社で行います。このような地で伝統芸能を披露するからこそ、伝えられる歴史の奥深さや魅力があります。能をはじめ、吉備津神社廟宇による講演や胡弓・三味線の演奏などを通じ、現代を生きる皆さんに少しでも福山の歴史に興味をもつきっかけになればと思います。

喜多流大島能楽堂
喜多流能楽師
(福山城築城400年
記念事業実行委員会
委員)
大島 衣恵さん

新市エリア

勝成が吉備津神社を再建したことや桜山が築城候補地の一つであったことにちなみ、歴史や伝統文化が体感できるイベントを開催。
 ●城のあるまち講演会(3/24(日)しんいち市民交流センター)
 ●福山名所コンサート(4/6(土)吉備津神社)
 ●山城の魅力を紹介する冊子の作成・フィールドワークの実施

福山城築城400年記念 市民企画事業を募集します

募集期間:1/31(木)まで 審査:2月 決定:3月

2022年に迎える福山城築城400年に向け、市民が企画・実施する事業を募集します。

申問 同実行委員会事務局
(文化振興課内 928-1117)

対象事業

- ①団体自らが企画・実施するもので、記念事業の目的に沿った事業
- ②団体の構成員以外の人が広く参加できる事業
- ③4/1(月)~来年3/31(火)に実施する事業

応募方法

応募を希望する団体は、申請書に次に掲げる書類を添えて、期間内に提出してください。
 ○団体概要書 ○団体の規約・会則など
 ○事業計画書 ○収支予算書
 ○その他会長が必要と認める書類

Pick up

福山城
ゆかりの
古式とんど
を復刻

福山とんど祭り

福山城の築城完成を祝い、城下の各町が繰り出したという古式とんどを製作。全6基のとんどが中心部の商店街を練り歩く。

時1/14(月)11:00~12:30
所東コース:中央公園~東小学校
旭コース:中央公園~旭小学校
問福山とんど実行委員会
(東公民館内 925-4264)

町ごとのとんどの意匠にも注目



まだまだあるぞ! 入封400年イベント

- 歴史観光ツアー
- 楽天チェックを活用したポイントラリー
- ナイトタイムエコノミー(夜の音楽イベント)
- 福山城VR(バーチャルリアリティー)の制作・公開
- など



現在制作中の福山城CG

現在の福山城。天守は昭和時代の再建で、2018年8月に県内初の景観重要建造物に指定された

水野勝成ってどんな人?

生没 1564~1651(永禄7~慶安4年)。三河国(愛知県)刈谷の領主・水野忠重の長男で、徳川家康のいたと。織田家、豊臣家、徳川家に仕える。小牧・長久手の戦い、大坂の陣などで数々の武功を挙げ、「鬼日向」とも呼ばれた。



水野勝成像(賀忠寺蔵)

2019年は入封400年

福山藩初代藩主

水野勝成の足跡をたどる



戦国時代から江戸時代までにかけて勇将として名をはせ、その後は福山の礎を築いた名君として知られる福山藩初代藩主・水野勝成。その足跡と功績を振り返るとともに、入封400年を迎える2019年の記念イベントを紹介します。

問文化振興課(928-1117)

1623年~

藩政に尽力
地元の領主や武士を積極的に登用し、城下町の整備や産業育成、全国初ともいわれる藩札の発行、神社・寺院の再建などに力を注いだ。勝成の政策により、福山藩は大きく発展した。

隠居後も
1万石を投資。80歳を超えて京都で禅の修行も

皆で城を
建てようぞ~

1620年~1622年

陣頭で職人たちを鼓舞。短期間で普請を終える
浪人時代を過ごしたといわれる勝成は、備後国の地理に詳しく、各地を巡回した。当時は神辺が中心地だったが、瀬戸内海に近い現在の福山市中心部に新たな城を築くことを決めた。

新規築城が禁止されていた中、西國鎮護の役目から例外的に認められ、築城に着手。自ら日夜督励し、5重の天守や20基を超える櫓・長大な多聞櫓をもつ巨城を短期間で完成させ、城下町の整備にも取り組んだ。

城の候補地を探して神辺・新市・箕島などを視察

1619年

海路から鞆に上陸。一時期この地では、備後國の地圖に詳しく述べてある。勝成は忠重の家督を継ぎ、三河国刈谷3万石の当主となつた。その後、西国鎮護の役目をもつて1619(元和5)年に福山に移り、大和郡山6万石に転封。そこで文化振興課(928-1117)が主催するイベントを紹介します。

鞆に入港
領内を巡見
入封とは?
土地を与えられ、その領地に入ること。転封とは領地を替えること。

福山藩入封前は...
父忠重の家督を継ぎ、三河国刈谷3万石の当主となつた。その後、大和郡山6万石に転封。そこで文化振興課(928-1117)が主催するイベントを紹介します。

福山藩の礎を築いた水野勝成の功績

福山のまちづくり

町人町として神島三町(上市・中市・下市)を形成。備後国領内から富豪も招いた。また、職人も集団で住ませ、産業を奨励。1630(寛永7)年には全国初ともいわれる藩札(領内で発行した紙幣)を発行した。

上水道・治水整備

城下町建設と同時に、上水道網(福山旧水道)を整備。また、城下町を氾濫から守るために、芦田川の治水・灌漑・利水事業を行った。



神社・寺院の再建

備後國一宮の吉備津神社など、備後国内の寺社を復興。旧領の刈谷や大和郡山からも寺社を移転させた。勝成は没後、水野神社(内海町)、聰敏神社(北吉津町)に御祭神として祀られている。

